

医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム (ACT-M)「イノベーションセットアップスキーム」 公募説明会

平成28年6月

日本医療研究開発機構 (AMED)
産学連携部 産学連携課
メール sangaku-i@amed.go.jp

■本日のスケジュール

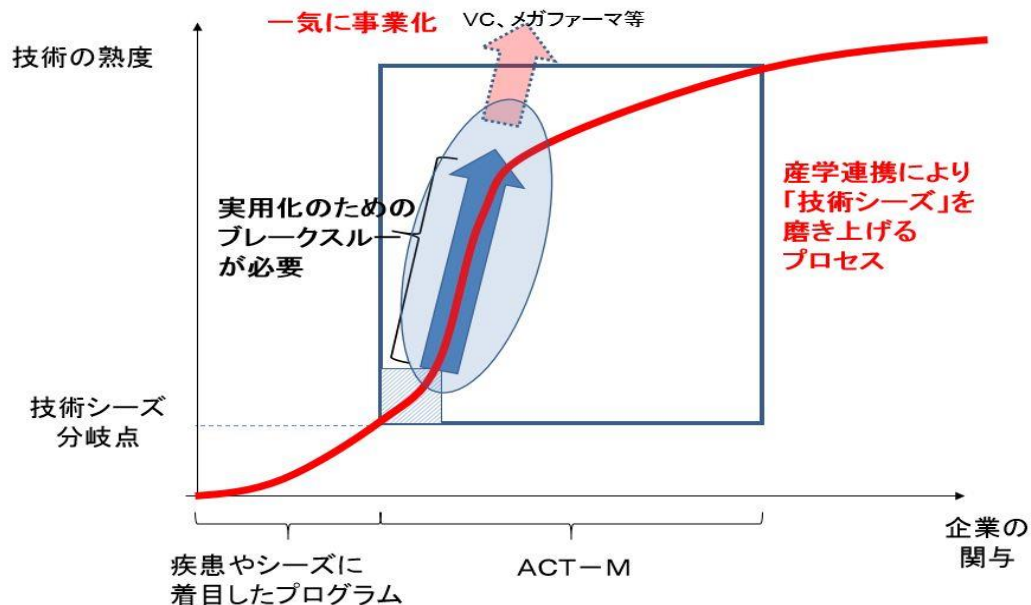
1	開催挨拶 産学連携部 部長 森田 弘一	10時00分 ~ 10時05分
2	プログラム概要及 び公募内容説明 提案書記載説明 産学連携課 高木、高橋	10時05分 ~ 10時45分
3	研究公正説明 研究公正・法務部 瀧川	10時50分 ~ 11時00分
4	質疑応答	11時00分 ~ 11時30分

■お知らせ

本日の説明会の内容は録画し、後日動画で配信致します。

■本プログラムの範囲

■ 「イノベーションセットアップスキーム」は、大学等と企業が共同で医療・医薬分野の革新的シーズを実用化する「産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)を強化・加速するものとして、挑戦的な技術シーズを有する大学等に、それを活用することを希望する企業または起業家(以下「セットアップ企業」)が策定した「ビジネスモデル」を実現するために必要となる、ボトルネックの解消のための研究(以下「ブラッシュアップ研究」)に注力して頂くスキームです。本事業への応募を検討される場合は、大学等とセットアップ企業で十分に認識をすりあわせ、達成目標と実施内容を明確にさせていただくことが必須となります。



■ 本プログラムの対象分野

AMEDが目指す3つのLIFE (生命・生活・人生) の向上に関する課題を対象にします。

- 生命 : 生命現象に関する学術的な研究成果を「新しい医療」につなげる視点
- 生活 : 医療に付随する生活の質(QOL)の向上を目指す視点。これまでに構築されてきた現代標準医療の高度化だけでなく、将来これらを凌駕する可能性のある「代替医療」や「統合医療」について科学的検証や論理的基盤の構築を試みるものも含む。
- 人生 : 予防的あるいは先制的医療、若年期から老齢期に亘る長期的な視点。遺伝子情報(後天的な変化を含む)を活用するものも含む。



■応募の要件

以下の1~3の全てを満たすものが対象となります。

1. 挑戦的シーズを保有する大学等とセットアップ企業の連名による、医療イノベーションにチャレンジするブラッシュアップ研究の内容を明確にした「共同提案」を求めます。
2. ブラッシュアップ研究の実施内容は、セットアップ企業が策定するビジネスモデルの実現を目的とするものに限り、また、研究費の支出先はシーズを保有する大学等に限り、セットアップ企業は研究費の支出先とはなりません。
3. プログラムの運営を行うプログラムスーパーバイザー (PS) およびテーマ毎にプログラムオフィサー (以下「PO」という) を置き、各課題をPOが統括・評価します。各課題については、大学等の研究開発者 (開発推進者1名) が課題リーダーを努めて頂きます。課題リーダーがPOの指導の下で研究課題のマネジメントを行います。

研究開発テーマ

■ 本プログラムにおいては、対象分野に該当する、大学等が保有する挑戦的な技術シーズのうち、ヒトへの医療応用が可能であると想定されるシーズについて、ヒトへの医療応用を目指した「ブラッシュアップ研究」を実施する課題を応募対象とします。

テーマ名	PO		概要
<p>オープンイノベーションによる革新的な新薬の研究開発</p>	<p>谷田 清一 公益財団法人 京都高度技術研究所 産学公連携事業本部 京都市ライフイノベーション創出支援センター センター長</p>		<p>国内の医薬品産業は、導入品依存から新薬の自社開発に舵を切り世界第3位の新薬創出力を保有しました。しかし、抗体医薬や低分子標的薬では、欧米メーカーに後れを取っています。また、医療は個別化・精密化に向っています。医薬品企業はオープンイノベーションに転じ、アカデミアと併走して新薬開発を目指す傾向が強まっています。アカデミアで顕在化した薬の「芽」や薬づくりの「技」を企業の実践的な視点で育成し、革新的な新薬の創出を目指します。</p>
<p>急激な少子高齢化社会を支える革新的医療技術・医療機器の研究開発</p>	<p>千葉 勉 京都大学 総合生存学館 特定教授 京都大学 医学部研究科 名誉教授</p>		<p>「健康寿命」と「平均寿命」の差“ゼロ”の実現をめざして、科学的根拠に基づく近未来の環境、動向に合致した革新的な医療技術等の創出を目的とします。疾患を包括的に考え、対応すべき重要な疾患について、新たな知見に基づいたアカデミア等の「シーズ」を企業との共同研究開発することにより革新的な医療技術・医療機器の創出を行うための研究開発等を支援します。</p>

研究開発費および研究開発期間

研究開発期間	2年度間（期間の下限は設けない）
研究開発目標	「医療イノベーション」を目指すため、提案には「従来の製品の性能を○%以上改善する（向上する）」等、既存技術の性能向上を「アウトカム達成目標」として定量的に提示する。
チーム構成	大学等と企業との「共同提案」方式
契約方式	AMEDが経費を支出する機関それぞれとAMEDとの直接委託契約（単年度契約）
採択予定数	10課題程度
研究開発費の目安 （間接費込み）	限度額2,000万円程度／年 間接経費を含む

- 研究開発期間中において、進捗の把握状況や評価等により、POの判断によって研究開発費の調整、中止を行うことがあります。
- 終了時の評価により卓越した成果が得られた課題については、「加速研究開発」として研究開発期間の延長（期間はPOが決定）を認める場合があります。

評価の観点

■本プログラムの設定主旨との整合性

本プログラムの設定主旨に合致した課題内容であること。

■目標・計画の具体性

「ブラッシュアップ研究」を当該アカデミアに実施させる考え方（アカデミアとの役割分担等）、導出のためのビジネスモデルと資金調達戦略が具体的に設定されており、その実現に向けた計画が明確になっていること。

■シーズ技術との関係

基礎研究（探索的な研究）の成果が「シーズ技術」として確立している（知的財産の確保に向けた取組が行われている）こと。

■新規性

既存技術の改良・発展では無く、新しいアイデア、コンセプトに基づく提案であり、他の研究に比べて優位であること。

■社会的インパクト

社会ニーズに対応しており、QOLの向上に大きく貢献できること。

■産学連携の妥当性

「ブラッシュアップ研究」を当該大学等に実施させる考え方、導出のためのビジネスモデルと、大学等における「課題解決のための研究開発計画」が適切に連携されていること。

※大学等（病院を含む）の単独提案は不可。

■臨床研究・治験への取組

医療現場での実用化のシナリオに向けた産学の連携が適切な役割分担により構築されていること。 ※本提案における企業側の負担内容も評価の参考にいたします。

■提案書の書き方

様式	記載項目
様式1 テーマ	応募するテーマに○をして下さい。 テーマ1 or テーマ2
様式1 対象分野	AMEDの目標である3つのLIFE(生命、生活、人生)のどの分野を狙った提案か○を記入下さい
様式1 1.課題概要	申請課題の独自性、新規性・進歩性、社会的有用性、既存技術に対する優位性、ボトルネックとして克服すべく問題点、ビジネスプランの概要を図や表を用いて判りやすくまとめて下さい。(1から2頁程度)(書面評価重点項目)
様式1 1.事業化担当企業との連携構想	事業化に向けた担当企業との連携状況について、①現在の状況②今後の構想について大学等、事業化担当企業それぞれの構想をなるべく詳細に記載下さい。事業化担当企業は設立準備中のベンチャー企業も可。(書面評価審査重点項目)

■ 提案書の書き方

様式	記載項目
様式1 2. 申請者情報	<p>本開発を担当する大学等から課題リーダーを選任下さい。併せてセットアップ企業の開発課題責任者情報を記載下さい。</p>
様式2 基本構想	<p>課題概要の補足としてキーとなるシーズ、競合研究開発状況、将来展望、事業化内容について、必要な詳細データ(図・表・式等)を用いて具体的、定量的に説明して下さい。</p>
様式3 研究開発計画	<p>・研究開発の目標・ねらいを達成するための研究開発のアプローチ、具体的手法、進め方、研究開発期間中の研究開発の到達点とその達成度の判断基準などを、主要な研究開発項目毎に、年度毎に簡潔に記載下さい。</p>
様式3 1. 実施内容・マイルストーン	<p>本提案課題が、複数の研究開発項目で構成されている場合は、研究開発項目毎に、年度毎に達成する目標・成果を出るだけ具体的に記載して下さい。</p>

■ 提案書の書き方

様式	記載項目
<p>様式4 特許・論文等リスト</p>	<p>本提案におけるシーズが特許化（出願中のものも含む）している場合、重要な順に5件以内を以下に記述して下さい。 本提案におけるシーズに関連する論文等（書籍含む）について、重要な順に5件以内、記載して下さい。</p>
<p>様式5 他の事業・制度への応募、 実施等</p>	<p>提案課題に参画する全ての研究開発者について、記載下さい。 課題リーダー、研究開発代表者、分担者 等</p>
<p>承諾書</p>	<p>全ての参画機関にて作成して下さい。 押印後、カラーでPDFを作成し、提案書と一緒にe-Radにアップロードして下さい。</p>

経費

- チーム全体(大学等)の経費を申請してください
- 単年度契約のため、大学等も基本的に繰り越しできません。

	費目 (大項目)	費目 (中項目)	注意事項
直接 経費	物品費	設備備品費	・建物建設費用、不動産取得費用は申請できません。
		消耗品費	
	旅費		・本課題の遂行のために必要不可欠な旅費 (教育の一環としての学生の学会参加等は認められません。)
	人件費・ 謝金	人件費	・提案課題を遂行するために必要不可欠な研究員・技術員・研究補助員等の人件費 ・国からの資金、公費による人件費措置の対象者の人件費は計上出来ません。
		謝金	
	その他	外注費	・仕様書に基づく請負業務の外注 (再委託はできません。)
その他経費			
間接経費			直接経費の30%固定

申請方法

(1) 所属機関の同意

課題リーダーは、開発課題を申請する際に、あらかじめ全ての参画機関長の承諾を得て、承諾書を提出して頂きます。押印した承諾書のPDFをカラーで作成し、応募用紙と合わせてe-Radにてアップロードして下さい。

(2) 申請書類の入手

e-RadあるいはAMEDホームページからダウンロード願います。

(3) e-Rad (府省共通研究開発管理システム) 登録

申請(応募)に先立ち、e-Rad登録が必要です。

研究開発代表者および中核機関(研究開発代表者の所属機関)の登録が**MUST登録に2週間以上かかる場合があります。余裕をもって登録手続きを行ってください。**

(4) 課題申請書等の申請

締切 7月22日(金) 正午

e-Radによる申請

提出書類は、**全てPDFに変換し、e-Radにアップロード**してください。

※PDFのファイル名を

e-Rad課題ID_代表研究機関名(法人種別は除く)

にして下さい。

例) 12345678_日本医療研究開発機構

※10MBを超える場合は、ファイルを分割して参考資料ファイルにアップロードして下さい。ファイル名は、下記にして下さい。

例) 12345678_日本医療研究開発機構_1(通し番号)

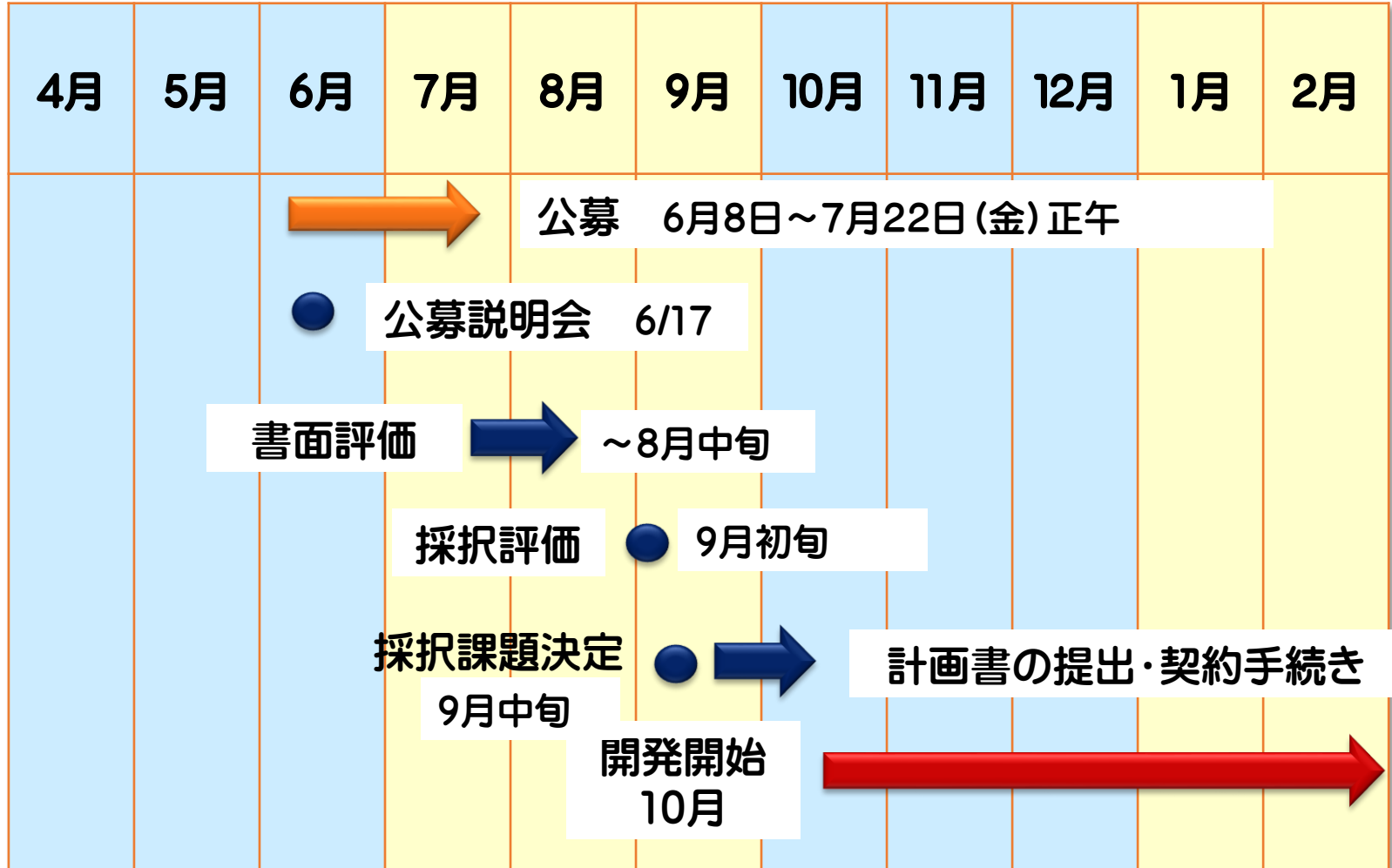
12345678_日本医療研究開発機構_2

※提案書類の容量は、極力小さくして下さい。

本プログラムでは、紙での応募は受け付けませんので、ご理解の上対応お願い致します。

※締切当日は、e-Radのアクセスが集中しレスポンスが悪化することが予想されます。早めの入力をお願いします。

■公募～研究開発開始の日程



■お問い合わせ

<p>プログラム、応募書類 の作成・提出、応募手 続き等に関する</p>	<p>日本医療研究開発機構 (AMED) 産学連携部 産学連携課</p>	<p>TEL: 03-6870-2214 午前9:30～午後6:00 ※土曜日、日曜日、祝祭日を除く</p> <p>e-mail:sangaku-i@amed.go.jp ※お問い合わせはメールでお願い いたします。</p> <p>AMED公募ホームページ: http://http://www.amed.go.jp/</p>
<p>e-Radの操作方法に 関する</p>	<p>府省共通研究開発管理 システム(e-Rad) ヘルプデスク</p>	<p>TEL: 0570-066-877(ナビダイヤル) 午前9:00～午後6:00 ※土曜日、日曜日、祝祭日を除く</p> <p>E-Rad ポータルサイト: http://www.e-rad.go.jp/</p>

「平成28年(2016年)熊本地震」において被災した研究者・研究開発機関の方へ

現在、AMEDにおいて実施している研究開発課題の公募において、応募・申請に支障が生ずる場合には、個別に対応を検討いたします。

検討を希望される方におかれましては、公募期間中に事業の問合せ先までご相談ください。

※被災地域での救護等に従事する等の理由で、応募・申請に特段の影響が生じた場合もご相談いただけます。